



遊 佐 町

遊佐町では、「共存の森」再生事業、松林保全事業、森林景観保全事業、公共の森100年計画事業の4つの事業を実施しており

「共存の森」再生事業



平成23年度に遊佐町で取得した岩石採取跡地の森づくり再生事業です。今年度は7月に町民ボランティアの方と一緒に下草刈り、枝打ちを実施しました。

松林保全事業



藤崎小学校と高瀬小学校の4年生の体験学習の一環として、松くい虫予防のためにクロマツの樹幹注入を実施しています。当たり前にある自然の大切さを感じながら、松くい虫発生のメカニズムと樹幹注入の必要性について体験学習を行います。（写真は昨年度実施時のもの）

森林景観保全事業

公民館などの公共的用地、景観に支障がある松くい虫被害木の伐倒及び破砕を実施します。伐倒した被害木はチップ、ペレットなど再利用することで木材の有効利用を図ります。

公共の森100年計画事業

毎年11月頃に、保安林内の耕作放棄地等においてクロマツの植林をし、海岸林の再生を目指します。植林は、藤崎小学校と高瀬小学校の4年生と地元のボランティアの方々が協力して行います。

例年やまがた緑環境税を活用して4事業に取り組んでおります。昨年度は新型コロナウイルスの影響により2事業の（松林保全事業、森林景観保全事業）実施となりました。少ない事業数の中でも、活動に参加した小学生の森林に対する学びの姿勢、それを見守り導く方々の知識と情熱に本事業を推進していく意義を再確認する機会になったのではないかと思います。今年度は、地域の皆様やボランティアの方々をはじめ、砂丘地砂防林環境整備推進協議会の皆様の引き続きのご協力により、例年通りの事業実施に向けて、十分な対策と準備を行っております。森林の整備や教育などが今後も途切れぬように本税を有効活用していきたいと思っております。